

川崎をもっともっと住みやすいまちにするために。

川崎市総合計画

〔PR版〕



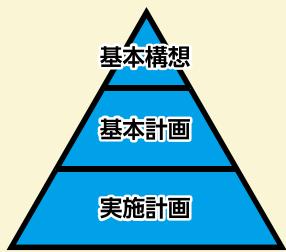
まちを好きな人が多いと、
まちは良くなる！

川 崎 市

「川崎市総合計画」ってどんな計画？

川崎の「良いところ」を活かしながら、みんなで力を合わせて、「もっともっと住みやすいまち」をつくっていけるように、10年後、30年後を見据えて、まちづくりの方向性と、道筋をお示しする計画です。

川崎市総合計画は3層構造



基本構想 ビジョンを示す

今後30年程度を展望した長期的な指針として「めざす都市像」、「まちづくりの基本目標」、これらを達成するための「基本政策」を定めています。

基本計画 政策の方向性を示す

5つの基本政策を体系的に推進するために、概ね10年間に、政策をどのように進めていくのかを明らかにしています。

実施計画 具体的な取組を示す

平成28年度・平成29年度に取り組む具体的な施策・事業を示しています。

めざす都市像

「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」

まちづくりの基本目標

「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」

基本政策

- 1 生命を守り生き生きと暮らすことができるまちづくり
- 2 子どもを安心して育てるこことできるふるさとづくり
- 3 市民生活を豊かにする環境づくり
- 4 活力と魅力あふれる力強い都市づくり
- 5 誰もが生きがいを持てる市民自治の地域づくり



ここからは、「川崎市総合計画」がどんな計画なのか、質問形式でさらに詳しく説明します。

1

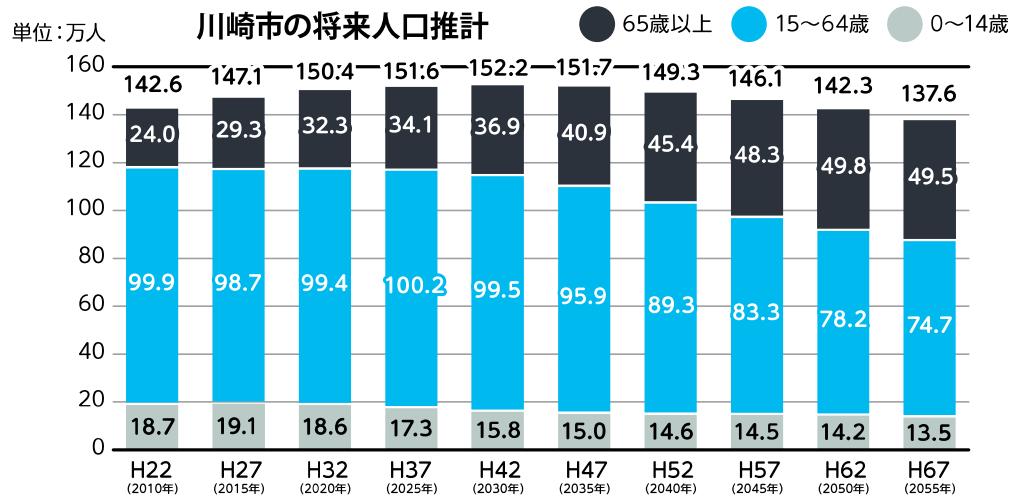
これからの川崎市の課題って？

全国的に見ても、いまは平均年齢の低い元気な大都市ですが、今後は、急速に高齢化が進み、働く世代や子どもの数が減っていく見込みです。



少子高齢化

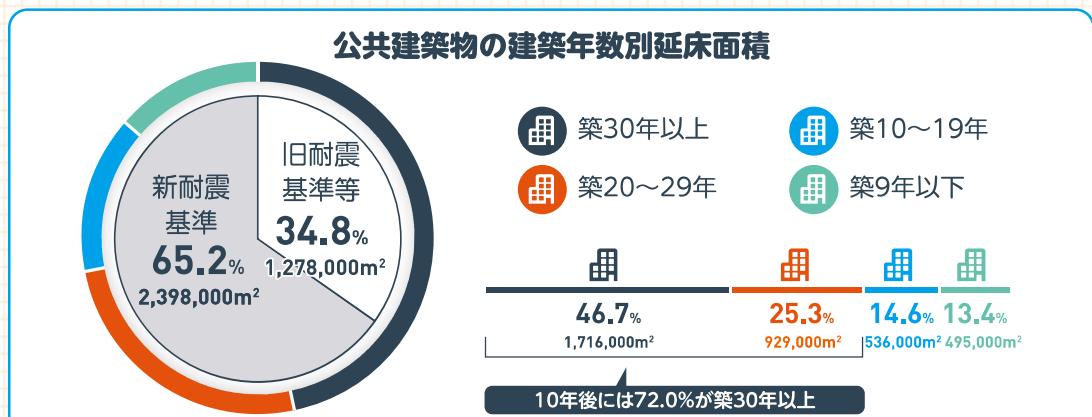
人口減少





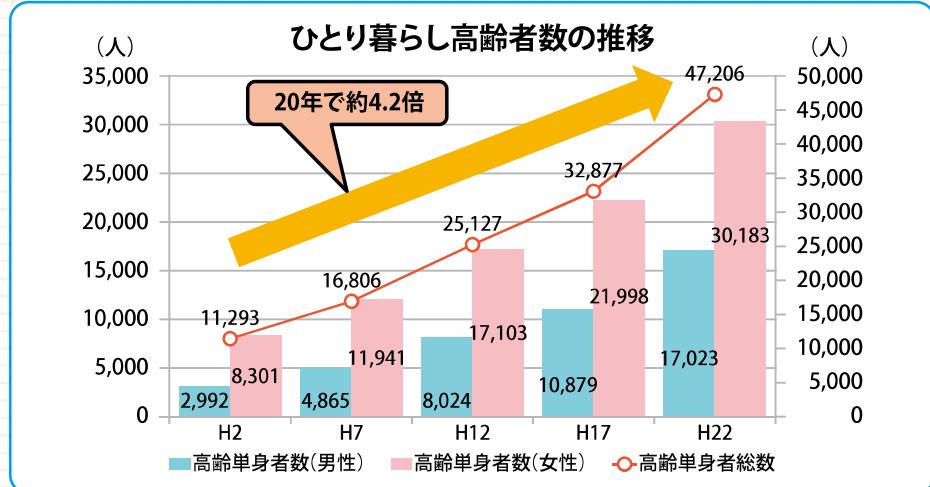
「ひと」の高齢化だけではなく、**建物の老朽化**も進んでいて、庁舎や学校などの7割以上の建物が、**10年後には築30年以上**になる見通しです。

都市インフラの老朽化



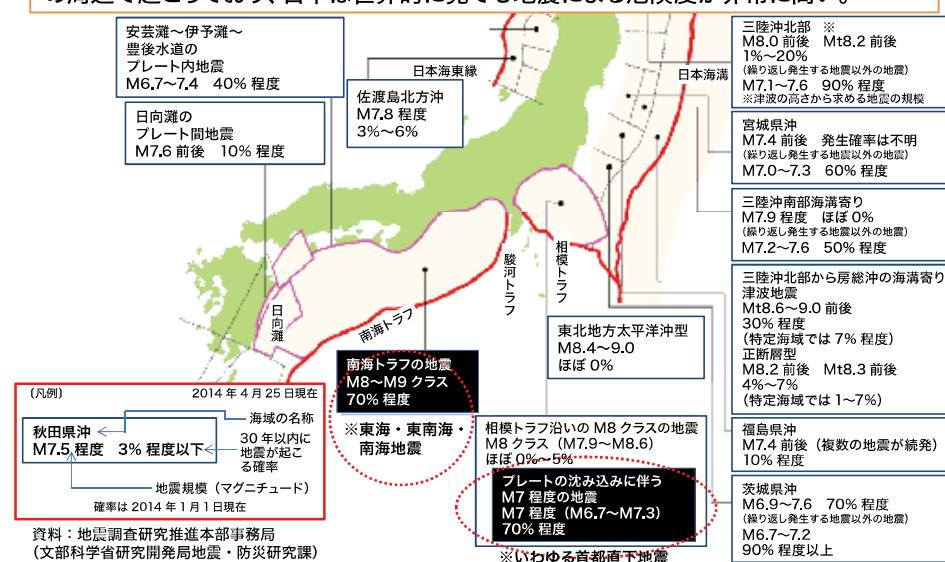
その他にも、**ひとり暮らし高齢者の増加**や、**産業経済を取り巻く環境変化、災害対策や環境問題、地域で助け合うしくみの強化**など、将来を見据えて乗り越えなくてはならない課題がたくさんあります。

ひとり暮らし高齢者の増加



今後30年間に震度6弱以上の地震が発生する確率

日本の面積は世界の面積の1%未満であるにもかかわらず、世界の地震の約1割が日本の周辺で起こっており、日本は世界的に見ても地震による危険度が非常に高い。



災害対策

2

では、川崎の良いところは？



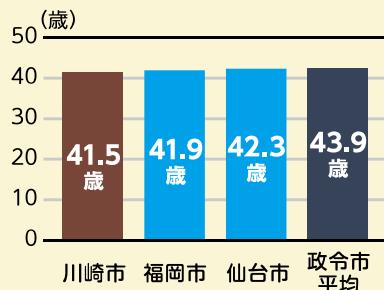
働き盛りの人が少なくなって、道路や学校も古くなってきて、災害の心配までしなきゃいけないなんて、課題がいっぱいあるの。

でも、川崎って、便利で楽しくて住みやすい元気なまちだよね。良いところがたくさんあるんだよ！



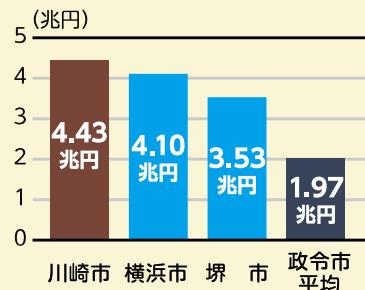
元気！

よいところ
1 若いまち



平均年齢：20都市中1位

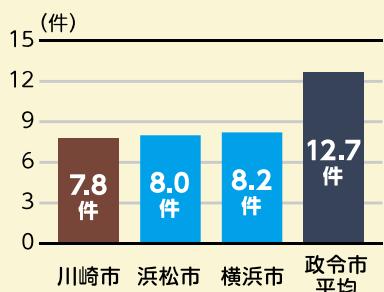
よいところ
2 ものづくりの
盛んなまち



製造品出荷額等：20都市中1位

安全・安心！

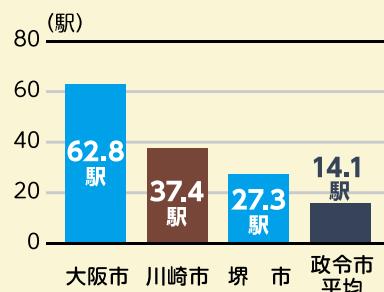
よいところ
3 安全・安心な
まち



人口千人当たり刑法犯認知件数：
20都市中最少

便利！

よいところ
4 住みやすく
暮らしやすいまち



市域面積100平方キロメートル当たり
鉄道駅数：20都市中2位

※政令指定都市（政令市：20市）中の上位3都市（出典：平成25年版大都市比較統計年表からみた川崎市ほか）

先端産業・研究開発都市 かわさき



羽田空港にも近く、世界とのビジネスに便利な川崎に、がんの最新医療を研究開発する機関などが集まっている、どんどん新産業の芽が生まれているんだよ！



産業観光スポットとして話題
臨海部の工場群の夜景



企業や研究開発機関の集積が進む
殿町国際戦略拠点「キングスカイフロント」

産業観光ツアーが人気だね。
臨海部の「工場夜景」は、日本七大工場夜景の
ひとつなんだって！



市内のあちこちに緑や水辺
の空間があるんだよ！



初夏の生田緑地（メタセコイアの林）



春の二ヶ領用水

自然豊かなまち かわさき

音楽のまち かわさき



世界的に音響の良さが評価される
「ミューザ川崎シンフォニーホール」



フランチャイズオーケストラ
「東京交響楽団」

クラシックだけじゃなく、ストリートミュージシャンが多いなど、**堀野の広い「音楽のまち」**だよね♪



スポーツのまち かわさき



〈サッカー・J1リーグ〉 川崎フロンターレ
(等々力陸上競技場)



フロンターレの試合で毎回盛り上がる
等々力陸上競技場では、英国オリンピックチームの事前キャンプ受け入れが決まったよ！



川崎は、優れたポテンシャルや、多彩な魅力にあふれた元気なまちなんだね。
良いところを活かして、課題を乗り越えていくことが大切だね！

3

これからどんなまちをめざすのかな？ ～めざす都市像～

「成長と成熟の調和による 持続可能な最幸のまち かわさき」



「成長」と「成熟」って…？

「成熟」っていうのは、「安心」とか「生きがい」とか、「誇り」などを持てる暮らしのことで、「成長」は、これから人口が減っていく中でも、「まち」が発展していくことをイメージしているよ。



じゃあ、「最幸のまち」っていうのは？

将来性のある産業を振興するなどの「成長」するための取組と、福祉や教育などの「成熟」したまちづくりをバランスよく進めることで実現される、みんなが幸せを感じられるまちなんだ！



「成熟」

安心のふるさと
づくり

「成長」

力強い産業都市
づくり

どんなまちをつくっていくの？ ～都市構造と交通体系～



今後、人口が減っていくことが見込まれる中では、「選択と集中」による拠点整備と、
より身近なまちづくりが一層重要となります。

- 人が集まり、都市の活力を高める、言わば川崎の「顔」となる「広域拠点」
- 産業振興の核となり、我が国の経済をけん引する「臨空・臨海都市拠点」
- それぞれのエリアで市民生活の中心となる「地域生活拠点」

3種類の拠点の機能を高めるとともに、鉄道沿線を意識した身近なまちづくりを進めます。さらに、これらを支える交通網等の整備を効率的・効果的に進めていきます。



総合計画に基づき、なにをしていくの？ ～かわさき10年戦略～

「かわさき10年戦略」は、めざす都市像やまちづくりの基本目標の実現に向けて、今後10年間の取組を、「成長」と「成熟」、「基盤」づくりの3つの視点で7つの戦略にまとめたものです。



総合計画の中で定めた**「かわさき10年戦略」**に基づき、着実に取組を進めていきます。

【かわさき10年戦略の基本的な考え方】

- 少子高齢化の急速な進展や、生産年齢人口の減少が見込まれる厳しい状況の中にあっても、その影響を出来る限り緩和しながら、将来に向けてチャレンジし続けていくことが重要です。
- 福祉や教育・文化振興などの市民に身近な行政サービスを持続的に提供することにより、市民が日常生活に質的な充足を感じる「成熟」したまちになっていくための戦略とともに、将来を見据えた投資により、本市の強みである産業・経済・利便性の高いまちづくり等を強化し、まちを一層「成長」させる戦略を積極的に進めています。
- さらに、産業・経済・まちづくり等の活性化による「成長」は、市税収入の増加をはじめとして本市財政にも好影響を与えることから、市民生活の向上を通じてまちの「成熟」につながるとともに、「成熟した市民の力」は、新たな産業や文化・スポーツ・地域活動の振興の源泉となり、更なる「成長」を促します。
- この戦略は、こうした「成長」と「成熟」の好循環による、まちの持続的な発展を目指して、好循環を支える「基盤」づくりとあわせて、その考え方と、現時点で想定する主な取組をまとめたものです。

まちの持続的な発展のイメージ



戦略1 「みんなで守る強くしなやかなまち」をめざす

基盤

国土強靭化に向けた取組、災害時の拠点となる本庁舎等の建替えなど

いつ起るか分からない地震や集中豪雨などの自然災害に的確に備えるとともに、日常生活を安心して過ごせる環境づくりを推進し、中長期的な視点で気候変動にも的確に対応しながら、いつでも安心して暮らせる、しなやかなまちをめざします。

取組の例

- 住宅や公共施設などの耐震化を進めます
- 上下水道の耐震化を進めます
- 救急隊の増隊（H30：1隊）に向けて取り組みます

消防力の強化（消防ヘリコプター“そよかぜ2号”）▶



「守られて安全。つながり合って安心。」
より、安全で安心な「まち」にしていきます